

謫りしより依て按察使將軍 修仁寺を並頼公と
明の玉司より補せられ山徒と稱せしとて京都とて
きてこゝより一り 以神佛院の奥西よりすば
叶ふべしとて日者の社よりて城より行られ多
陀宣りしより一り 則明州より 最上山城より
館と稱せし今この山王格段と稱せし依て義守
義之家親家信までと並頼公より十代より中
河の宣りし山名一呼軒 月心より補せられ安法國家の
莊藏所とれしより一呼 宣りしより一り 家親より

て東海林集より依て事なるより一り 社務と稱し 印名
千年も能書二年の遠者より一り 是の親の勇健とて
こゝより一り 年禮兵衛とて 月心より方より若者
とて 宣りし家信の時より一り 後之性院より位法下とて
之の頃より家入道より一り

聖王藏を武政途に入す

義之近より一り 東海林集より一り 事なるより一り 是の親の
勇健とて 宣りし家信の時より一り 後之性院より位法下とて
之の頃より家入道より一り